



博愛の里だより

元気いっぱい やる気まんまん 笑顔にこにこ

本園の HP です。↑
カラー版で拡大して
ご覧ください。

爽りの秋、園では運動会の練習が佳境を迎えています。

こういう大きな行事は、普段の生活の流れに変化を与え、お友達と一緒に力を合わせる体験やいつもとは異なる体験に、活動意欲を高めたり、自分や友達が思わぬ力を発揮することに気付いたり、園児同士の交流を広げたり、遊びや生活自体に新たな展開が生まれたりして、楽しんで活動しています。

右の写真は、その一端です。ゆり1組で、**遊戯の練習から海賊ごっこ**が始まり、海賊になりきるため帽子や剣・ベルトなどの



小道具を作って身に付けて遊ぶことから始まり、徐々に**やりたい子が増え**、次の日には「**海賊船を作りたい**」と**友達と会話しながら**段ボールに思い思いに絵具で色を塗り、また次の日には、「**宝探しをしよう**」と完成した海賊船で園内を探検し、「**宝の地図を見いてませんか**」と**園長室を訪ねてきた**時の様子です。「**残念ながら心当たりがない**」と答えると、意気揚々と未満児さんのクラスを訪問し、同じように尋ねるといふ行為を次々と繰り返していました。自分たちの作品を自慢気に紹介しながら、どの子も輝くような表情でした。

こうして、**遊び自体を自分たちで深めたり発展させたり、友達と折合いを付けながら相談して完成させたり**、なりきって遊ぶことでクラスを飛び出して**他の保育者と関わったり**しています。その度、クラス担任は、タイミングよく材料を準備したり言葉かけをしたりして見守っています。運動会の練習が続き、なかなかGタイムが取れない中にも、生き生きと主体的に遊び込む姿が見られています。

そんな以上児さんたちは、運動会本番での広さや場所の感覚をつかむため、18日(木)26日(金)と大詫間小学校の体育館を時間単位でお借りし、**現地練習**に出向きます。園バスで4往復するので結構大変ではありますが、頑張っています。園では(6月から続く暑さに電気料金が跳ね上がりつつも)空調に気を使い、涼しい中で活動ができていますが、いつまでも続くこの暑さに練習も加わり、大変疲れて帰ってくるかもしれません。先週は発熱での早退・欠席も多く見られました。お子さんの頑張りをしっかり認め、「**早寝早起栄養補給**」で**体調管理**をよろしくお願いします。



3か月ぶりに1日だけ↑
出た「警戒あんぱまん」



さくら組では、10日(水)に佐賀市子育て支援部保育幼稚園課から中野愛管理栄養士をお迎えし、**食育指導「食事のマナーを身に付けよう」**がありました。クイズ形式で箸の使い方や食事のマナーを学び、紙芝居を通して様々な食材を食べることの大切さを学んで、その後、イラストを見ながら再確認していました。みんな積極的に参加していました。その日の給食前には「(箸は)バーンで持つんだよ」や「苦手な物も食べないといけないんだよ」など様々な声が聞かれていました。

給食では好きなものばかりを食べるのではなく順番に食べ進めようとする姿が見られていましたが、ご家庭ではいかがでしょうか？ また、食事のマナーも、みんなが楽しく食事をしていけるように、声掛けをよろしくお願いします。



少しでも涼しい午前中には、短時間でも園庭や中庭に出て全身を使って遊んでいます。 →



18日(木)、ばら組さんたちは「英語遊び」を楽しんでいました。川副ショッピングセンターラポール内の敬老の日の似顔絵展示は見ていただけましたか？ 子供たちは忙しい日々を楽しみながら過ごしています。

9月からクラス開きをしたちゅうりっぷ組の3人。すっかり園にも慣れ、いっぱい食べて健やかに過ごしています。10月からはあと2名増え、5人になる予定です。



9月21日から「秋の交通安全県民運動」が始まります。事故は一瞬です。自分ごととして気を付けていきましょう！

秋の交通安全県民運動

運動の「やめよう! 佐賀のよかろうもん運転」
スローガン ~ 交通死亡事故ゼロを目指して ~

全国重点 1 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進

全国重点 2 ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進

全国重点 3 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルール理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

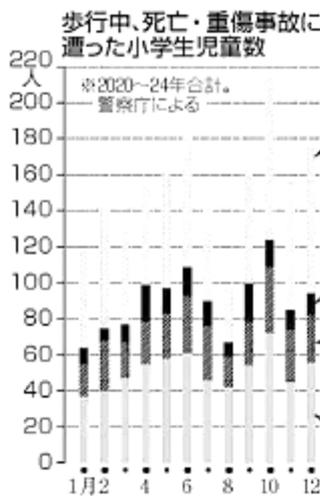
運動期間 令和7年9月21日(日)~9月30日(火)までの10日間

「JFA キッズサッカーフェスティバル 2025 in 佐賀県サッカーフェスティバル『U6 サッカーフェスティバル』のお知らせ」がきています。
このHP内に貼っておきます。興味がありましたらどうぞ。

佐賀新聞に気になる記事も見つけました。↓

2025年(令和7年)9月12日(金曜日)

新学期に慣れ、日没も早く



警察庁によると、2020年~24年に死亡・重傷事故に遭った児童は計183人だった。最多の10月に13人、6月が18人、次いで、6月が18人、ことも判明した。10月が最も多い。

法令違反なし
その他法令違反
横断違反
飛び出し

昨年までの5年間で歩行中に死亡・重傷事故に遭った小学生児童について警察庁が調べたところ、月別では10月が計214人で最多だったことが11日、分かった。日没が早まる秋から年末は死亡事故が増えやすく、同行が注意を呼びかけている。今月21日からの秋の全国交通安全運動では、歩行者の反射材着用や運転時の早めのライト点灯が事故防止に効果的だと啓発を進める。

歩行中の児童 10月事故最多

過去5年間、警察庁 秋の交通安全運動で啓発

全国の警察が今年6月、街頭で自転車利用者のヘルメット着用率を調べた結果も公表された。前年7月の調査と比べて4.2割増の21.2%だった。都道府県別では愛媛が最も高く70.3%、最低は大阪で7.2%。佐賀は26.6%だった。

多くなった要因について、同行は「過剰しやすい気候となり、新学期の環境にも慣れてくる時期で活動的になるため」とみている。

年齢を問わない全体の交通事故死者数を月別でみると、昨年は12月が287人で最多だった。例年、10月から12月に増える傾向で、この期間は歩行中に事故に遭うケースが多く、一層の注意が必要だ。

交通安全運動では、運転中にスマートフォンなどを使う「ながら運転」や飲酒による事故防止の啓発も強化する。バイクや車の飲酒運転による死亡・重傷事故は年末にかけて増える傾向にある。ながら運転による死亡・重傷事故は昨年138件で過去最多だった。自転車や電動キックボード利用者にも注意喚起する。

交通安全運動では、運転中にスマートフォンなどを使う「ながら運転」や飲酒による事故防止の啓発も強化する。バイクや車の飲酒運転による死亡・重傷事故は年末にかけて増える傾向にある。ながら運転による死亡・重傷事故は昨年138件で過去最多だった。自転車や電動キックボード利用者にも注意喚起する。